

講義名	卒業研究
講義コード	44110
担当教員	藤原 喜美子
開講期・曜日・時限	通年 木曜日 4時限
備考	

ゼミ
学部ゼミ・学科ゼミ
学部
人間社会学部
学科
人間社会学科、観光学科、人間健康学科
演習名
藤原喜美子ゼミナール（日本文化論）

概要説明
<p>この研究演習の目的は、民俗（生活文化）から日本の文化の本質ともいうべきものを考えることにあります。文化は、文字にみえる資料以外に、文字に記されていない民俗資料からも明らかにすることができます。家や地域に伝わる言い伝え（伝承）などが、この学問の大事な情報源になります。</p> <p>私たちの日常生活は、地域ごとにそれぞれの特徴が見られます。住居・衣服・食事・生業（農業・漁業・林業など）・村構成（子供会・青年団など）・人生儀礼（誕生・婚姻・葬送など）・年中行事（正月・節分・節供・七夕・お盆・月見など）・神祭、伝説・昔話・命名・民間信仰が研究のテーマになります。また、地域の特徴を知るために、文献だけではなく、フィールドワーク（聞き取り調査）による資料収集が必要となります。</p> <p>そこで、研究演習では、日常生活で伝承されてきた各地域の情報（民俗）を収集・整理する方法を学びます。そして、得られた文化の特徴を考察し、日本の文化の中に位置付けたいと思います。地域の情報（民俗）は多種多様であるため、それらの資料をいかに整理していくかが問題です。そのために、口頭発表とその質疑応答を通して、日本の文化（民俗）への理解と検討する方法を、ともに学んでいきたいと思います。</p> <p>「卒業研究」では、日本の日常生活の中から卒業論文のテーマを選び、各自が深して決めたテーマをもとに、口頭発表や質疑応答を行います。</p>
学位
修士（日本史学）

教員よりの要望
<ul style="list-style-type: none">積極的な姿勢で取り組むこと。現地見学（フィールドワーク）などを行うことがありますので、その時は参加してください。 日常生活（民俗）に対して、大いに興味を持ってくださることを期待します。日常生活には、日本の文化を語る多くの資料が満ちあふれています。身近な事柄に対して、何事にも強い関心や疑問を持ってください。

教員英字氏名
Fujiwara Kimiko
研究室
研究棟 2711
最終学歴
神戸女子大学大学院文学研究科日本史学専攻 博士後期課程単位取得満期退学

主な研究活動・社会活動・研究業績
〔社会活動〕大阪狭山市文化財保護審議会委員（民俗）、加古川市文化財保護審議会委員（民俗）、播磨町文化財審議委員(民俗)
〔研究業績〕 <ul style="list-style-type: none">著書『オニを迎え祭る人びと 民俗芸能とムラ』、『御影史学研究会民俗学叢書17、岩田書院、2006年10月刊） 論文『五徳市近町の高野参りと六斎念仏』（『考古学論叢』第30冊、奈良県立橿原考古学研究所、2007年3月刊） 論文『古寺と鬼会式「里のお面箱取り」をめぐって』（『久里』20号、神戸女子民俗学会、2007年4月刊） 論文『蓮花寺の「山の神の鬼面」のもつ意味』（『山岳修験』第43号、日本山岳修験学会、2009年3月刊） 論文『竹崎島の修正会鬼祭 満潮に二匹の鬼が呼びあうこと』（『御影史学論集』第34号、御影史学研究会、2009年10月刊） 論文『豊知県国府宮の夜難進神事』（『流通科学大学教養センター紀要』第1号、流通科学大学教養センター、2011年6月刊） 論文『兵庫県加東市の朝光寺の鬼踊り 修正会の祈りから八十八夜の祭りへ』（『久里』29・30合併号、神戸女子民俗学会、2012年6月刊） 論文『修正会と鬼 播磨の八葉寺の修正会と『中右記』『兵範記』をめぐって』（『鶴崎裕雄編『地域文化の歴史を往く 古代・中世から近世へ』和泉書院、2102年8月刊） 論文『兵庫県加西市住吉神社に伝わる難合せの神事』（『久里』32号、神戸女子民俗学会、2013年6月刊） 論文『播磨の鶴林寺の修正会と鬼追い 謡曲『吉道』との関わり』（『御影史学論集』38号、御影史学研究会、2013年10月刊） 論文『香椎宮の踏石神社と神功皇后と湊』（『久里』33号、神戸女子民俗学会、2014年1月刊） 論文『神社の祭りにおける相撲と子ども 神の相撲に関わる子どもの存在』（『日本文化論と民俗学』創刊号、流通科学大学人間社会学部藤原研究室、2017年8月刊） 論文『相撲節会の占手と童相撲』（『御影史学論集』42号、御影史学研究会、2017年10月刊）

主な卒業論文のタイトル
<ul style="list-style-type: none">〔2018年度卒業論文〕 <ul style="list-style-type: none">高度経済成長期の世の変化 良い縁をたくりよせる出雲大社 身近なブライダルの習俗と特色 それぞれの実体験から見えてきたもの 北条前田参りの置台今昔 宗室家の歴史と現在の特色 伊和神社の歴史と関連神社について 近畿の正月と行事 なかなか知られていないテキヤの世界 播州曹根の秋祭り 〔2017年度卒業論文〕 <ul style="list-style-type: none">徳畑天神社の春祭りについて 補助犬の存在意義 私の秋祭りと糸井屋台 洲本の芝右衛門理及び淡路島の理民話について 我が故郷三田 人と自然が調和する田園都市三田の魅力とは 海神社と秋祭り

趣味・特技
各地域へ出かけていき、色々なものを見て、新たな発見をすることが楽しみです。

所属
人間社会学部観光学科
所属学会
御影史学研究会、神戸女子民俗学会、日本民俗学会、日本山岳修験学会、藝能史研究会、まつり同好会、文化人類学会

専門分野
日本民俗学

選考方法
研究演習（日本文化論）を履修した学生に、引き続き、履修していただくことができます。

担当科目
日本文化論、地誌学、日本史A、日本史B、神戸の景観と歴史、読書力、教養特講（地理・歴史へのいざない）、教養総合(世界の中の日本)、基礎知識（歴史）、研究演習、研究演習、卒業研究

備考
研究演習の選択は、その後の自分（生き方）を大きく変えます。

評価方法
<ul style="list-style-type: none">出席を重視します。原則として毎時間、出席調査を実施します。欠席や遅刻状況も評価の中に含まれます。 レポートや研究発表の内容は当然ですが、研究演習に取り組む姿勢、発表者に対する質問（討論への参加度）など勘案して、評価を行います。

--